

## 1. 教育目標と目指す学校

### 教育目標と目指す生徒像

確かな知性に豊かな心をもつとともに、たくましい体を培い、主体的に生きることのできる人間を育てる。

- 1 自ら学び、心身ともに健康な生徒
- 2 自他の生命を尊重する生徒
- 3 自己責任をそなえ、すすんで社会貢献する生徒

### 目指す赤羽岩淵中学校像

- 1 正義がみなぎり、心の落ち着きと潤いある学校環境が整備された学校
- 2 思いやりの心と、互いに認め合い、励まし合い、高め合う人間関係がある学校
- 3 生徒が主体的に深く学び、生徒が進んで表現する授業が展開される学校
- 4 明るく元気に、何事にも全力でみんなで一致団結・協力して取り組む学校

## 令和6年度 教育活動の方針

### 教育活動スローガン

「大好きです！笑顔とあいさつあふれる赤岩中」

### 生徒が主体

生徒が考え自ら意欲的に取り組めるように工夫された教育活動

### 赤岩中の教育活動

- ・各教科授業
- ・道徳の時間
- ・総合的な学習
- ・学年学級経営
- ・生徒会活動
- ・行事の取組

### 他者とのかかわり

協働的・対話的な学習活動  
かかわり合いや認め合い等を重視した活動

〔土台・基盤〕 落ち着いた教育環境 安全・安心な学校生活 〔土台・基盤〕

【社会の変化への対応】  
【赤岩中の現状と課題】  
【北区教育ビジョン2024】  
【北区子どもの権利と幸せに関する条例】

【新学習指導要領の趣旨】  
【都・北区の教育目標】  
【保護者や地域の願い】

## 2. 今年度の取組目標と方策

### <目標1>すべての教育活動の土台となる「落ち着いた教育環境」を築く(重点目標)

#### 1 「心の教育」の充実

- ・道徳の時間の計画的継続的な実施と適正な評価 ・考え議論する道徳の授業の実践
- ・特別支援学級(7組)と通常学級との連携交流 ・特別支援学校との交流と障害者理解の推進
- ・ボランティア活動や社会参加活動、職場体験などの体験活動の充実

#### 2 「集団指導」の充実

- ・目指すべき集団
  - ①安心して生活できる②個を発揮できる③自己決定できる④自分の役割がある⑤達成感成就感がある
  - ⑥存在感が実感できる⑦好ましい人間関係がある⑧自己実現の喜びを味わえる
- ・リーダーの育成と自治意識を高める指導の充実
- ・どの先生でも同じ指導ができる集団
- ・生活アンケートやweb-QUの活用と2者面談の充実
- ・生徒を大切にしている指導の基本
  - ①一般の生徒を大切にすることを第一に考えた指導②なぜ良くないのかを伝える指導③全員で指導
  - ④良い面を褒め認め励ます指導 ⑤粘り強く繰り返し指導 ⑥内面の指導や心の育成を大切にしている指導

#### 3 「習慣化」のために共通方針で繰り返し指導

- ・あいさつの習慣化 ①教員から率先してあいさつ ②生活委員会等のあいさつ運動の充実 等
- ・人の話を聞く姿勢の習慣化 ①授業規律から習慣化 ②聴くことを重視した言語活動の充実 等
- ・時間を守る習慣化 ・身だしなみの習慣化 ・授業規律の習慣化 ・環境美化の習慣化

### 【目標1の数値目標】 ※12月実施の学校評価アンケート(生徒・保護者・教員)の数値

- ・「質問:生徒は明るく充実した生活を送っている」で肯定的回答85%以上
- ・「質問:あいさつや授業規律など、落ち着いた環境ができています」で肯定的回答85%以上
- ・学校行事、部活動、生徒会活動の項目のアンケートで肯定的回答85%以上

### <目標2> 主体的に学び、進んで表現する生徒の育成

- 1 生徒が見通しを持って授業に臨むことができ、また1単位時間における学びを確かなものとするために、「ねらいの提示(課題把握)」→「展開(教師の指導、個人思考、集団思考、深め合い等)」→「振り返り」のように1単位時間でのまとまりのある授業を実践する。
- 2 北区GIGAスクール構想を土台として、きたコンを中心としたICTを積極的に取り入れ、生徒の学習に対する「興味関心を高める」とともに、生徒同士が教え合い学び合う「協働学習」や生徒の能力や特性に応じた「個別学習」、「わかりやすく見通しの持てる授業」を実践する。
- 3 新学習指導要領の「対話的で主体的な深い学び」は言語活動の延長線上にあるため、様々な形の言語活動の工夫・実践を通して、生徒の思考力、判断力、表現力を育成する。
- 4 北区学校ファミリーを基盤とした幼小中一貫教育の趣旨を基盤として、小中高の学びのつながりと学びの連続性を意識・活用した授業を実践する。
- 5 授業動画等の活用や意図的計画的な宿題の実施などを通して、授業と家庭学習を組み合わせた学習活動を実践し、家庭における学習習慣の定着を図る。
- 6 学習調査(北区や全国)の学習調査や到達度テスト(実力テスト)等の結果分析を通して生徒一人一人の学習状況を把握し、それに基づいた個別指導や授業改善等の対策を実践する。

**【目標2の数値目標】**

- ・「質問:授業がわかりやすく行われている」で肯定的回答85%以上(生徒、保護者)
- ・「質問:思考力判断力表現力を高める授業が行われている」で肯定的回答85%以上(生徒、保護者)
- ・学習調査(区、国)の達成率の向上が見られる
- ・全教科できたコンを活用した授業が行われている

**<目標3>開かれた学校と教職員が働きがいのある環境を築く****1 教育活動に関する積極的な情報提供**

- ・授業参観や保護者会の充実
- ・進路や受験に関する情報提供の工夫
- ・ホームページ、学校・学年だより等の充実
- ・配信メールの活用

**2 家庭・地域との連携の充実**

- ・教職員の地域行事等への参加の推進
- ・青少年地区委員会を基軸とした地域連携教育の充実
- ・PTA活動の理解とPTAとの連携
- ・学校評議員との連携

**3 ライフワークバランスのとれた職場環境の構築**

- ・ICTを活用した会議や校務作業の効率化、簡素化
- ・勤務時間、在校時間の適正化と管理
- ・定時退勤日の徹底
- ・長期休業中等での年休取得を促進
- ・衛生委員会の有効活用

**【目標3の数値目標】**

- ・学校便りや学年便り等の定期的な発行
- ・学校ホームページや校長日記の定期的な更新
- ・教職員の在校時間を昨年度より縮小
- ・学校の指導体制不備や不適切な指導等による地域や家庭からの苦情0件